

2級FP技能士／AFP 学科試験対策

まだ間に合う！ 実力UP！

学科試験対策 問題集

2級FP技能士／AFP試験 学科試験対応

1級ファイナンシャルプランニング技能士

CFP認定者

星野直輝

【問題 20】

株式の信用取引に関する以下の記述のうち、誤っている記述を選んでください。

1. 信用取引とは、投資家が証券会社から資金や株式を借り入れて売買おこなう取引である。
2. 信用取引により300万円の新規売買をおこなおうとする場合、委託保証金率が30%とすると、最低でも1000万円の委託保証金が必要となる。
3. 信用取引の決済方法には、反対売買による決済方法と現引き・現渡しによる決済方法がある。
4. 信用取引には制度信用取引と一般信用取引があり、制度信用取引では、決済の期限は、新規建ての日から6ヶ月以内とされている。

解答

【問題 21】

ドルコスト平均法により、1回あたり1万円の投資予算でA社株式を以下のとおり買い付けた場合の1株あたりの平均取得単価として正しいものを選んでください。なお、計算結果の円未満の端数は、四捨五入して計算するものとする。

	1回目	2回目	3回目	4回目
株価	2000円	2500円	2500円	5000円

1. 2667円
2. 3000円
3. 4000円
4. 1万円

解答

【問題 20】

正解 2 番

1. 正しい記述です。信用取引とは、証券会社に保証金（有価証券でも可）を担保として預け入れ、お金または株券を借り入れて売買をおこなう取引です。信用取引口座を開設すると手持ちの金額以上の取引が可能となります。（レバレッジ効果）また、信用取引では、買い、売りのどちらからでも注文を出すことができます。

信用買い・・・資金を借り入れて株券を購入します。株式市場が上昇すれば利益となります。

信用売り・・・株券を借り入れて株券を売却します。株式市場が下落すれば利益となります。

2. 誤りの記述です。委託保証金率が30%とは、売買する額の30%の担保が必要ということですから、300万円×30%の計算より最低でも90万円の委託保証金が必要となります。なお、委託保証金率は、30%以上であれば、証券会社が自由に設定することができます。

3. 正しい記述です。信用取引では、お金や株式を借り入れて取引をおこなっているわけですから、いつかは借りたものを返済する必要があります。もう少し具体的にいうと、お金を借りて買っているのなら資金を、株券を借りて売っているのなら、株券を返済する必要があることとなりますよね。ですから、通常は、反対売買（お金を借りて買っている場合は期日までに株券を売却して資金をつくり、借りていた資金を返済、株券を借りて売っていたら、期日までに株券を買い戻して借りていた株券を返済）をおこなうことにより取引を完結させるのです。ただ、要は借りていたお金や株券を返却すれば良いのですから、必ずしも反対売買をおこない返済する必要はありません。手持ちの資金から借りていたお金を返済しても良い（これを現引きといいます）ですし、売りだてた株券と同一の現物の株券を保有しているのなら、保有している株券をつかって借りた株券を返済しても良い（これを現渡しといいます）のです。現引き・現渡しについては、名前と意味が混同しがちですから、口座から資金を差し引くから現引き・株券を渡すから現渡しと覚えておくようにしましょう。

4. 正しい記述です。制度信用取引では、取引所規則により決済の期限や取引できる銘柄などが決定されていますが、一般信用取引では、投資家と証券会社の間で決済の期限などを自由に設定することができます。

【問題 2 1】

正解 1 番

解説

ドルコスト平均法とは、定期的に一定金額ずつ買い付ける方法のことをいいます。平均取得単価は、総投資金額 / 総購入株数の計算により求めることができます。平均取得単価は、総投資金額 / 総購入株数の計算により求められます。総投資金額は、1 回あたり 1 万円ということですから、4 回では、4 万円。総購入株数は、下記の計算により

$$1 \text{ 回目} = 1 \text{ 万円} / 2000 \text{ 円} = 5 \text{ 株}$$

$$2 \text{ 回目} = 1 \text{ 万円} / 2500 \text{ 円} = 4 \text{ 株}$$

$$3 \text{ 回目} = 1 \text{ 万円} / 2500 \text{ 円} = 4 \text{ 株}$$

$$4 \text{ 回目} = 1 \text{ 万円} / 5000 \text{ 円} = 2 \text{ 株}$$

$$\text{購入株数合計} = 5 + 4 + 4 + 2 = 15 \text{ 株}$$

15 株となります。あとは投資金額 / 購入株数の計算をしてあげれば、平均取得単価を算出することができます。

$$4 \text{ 万円} / 15 \text{ 株} = 2666.666 \dots \text{円} \quad 2667 \text{ 円}$$